

## 寧夏回族自治区人材育成事業（円借款）



案件位置図

- 寧夏大学
- 寧夏医科大学

### 1. 本事業の支援内容（円借款貸付額：26.32億円）

- (1)校舎の建設：計 80,658 m<sup>2</sup>
- (2)教育・研究設備の購入：例 原子吸光分光光度計、透過型電子顕微鏡等の実験機材
- (3)教職員の訪日研修：48人



本事業で建設した島根大学・寧夏大学  
国際共同研究所

### 2. 本事業による日中大学間の交流<sup>1</sup>

#### (1)島根大学・寧夏大学

- ① 交流協定：1987年締結
- ② 本事業での訪日研修：22名受入
- ③ 国際シンポジウム：本事業で建設した国際共同研究所にて開催
- ④ 共同研究：砂漠化対策、過疎化対応等のテーマ

#### (2)島根大学（医学部）・寧夏医科大学

- ① 交流協定：2004年締結
- ② 本事業での訪日研修：22名受入
- ③ 学位取得：「9+3博士号取得プログラム」<sup>2</sup>の実施
- ④ 学生交流：毎年2名以上の修士課程の院生を島根大学に派遣し、1年以上の研究活動に参加

<sup>1</sup> 本事業の実施中に島根大学と寧夏大学・寧夏医科大学との協力関係が強化された要因として、①過疎化等両地域が共通の課題を抱え、研究テーマが一致しやすい、②学位取得を奨励し、共同研究のパートナーとなり得る人材を育成、③教員レベルから大学レベルへの協力に発展、④本事業以外からの予算を確保（大学独自予算、企業寄付金、財団資金等を活用）等の点が挙げられる（出典：本事業事後評価報告書）。

<sup>2</sup> 寧夏医科大学で修士号を取得した教員が、寧夏医科大学での職位を確保したまま、9か月間中国で教育・研究等の職務義務を果たし、3か月間島根大学での集中講義・録画講義等による博士号取得のための単位取得を可能にしたプログラム。単位取得後、論文を作成し、計4年間で博士号が取得できる設計となっている。